

一例として、Immobiline DryStrip ゲル pH 4 ~ 7 18 cm の場合の泳動条件を下の表に示す。これ以外のゲルを用いる場合には、Multiphor 2-D Manual 参照。

phase	V	mA	W	泳動時間	Vh
1	500	1	5	1分	1
2	500	1	5	1時間	500
3	3500	1	5	5時間	9500
4	3500	1	5	10時間	35000
Total				16時間1分	45501

× 二次元目：SDS-PAGE

準備するもの

1) 器具，機械

- ・電気泳動装置：マリソル社など多くのメーカーから発売されているのでゲルの大きさに応じて選択する
- ・泳動用電源：マリソル社など多くのメーカーから発売されている。大きなサイズのゲルへの対応を考えると、泳動時間の短縮が可能な500 W程度まで出力できる装置が望ましい
- ・SDS-PAGEゲル：サイズは一次元目のゲルの長さに応じて選択する。通常一次元目と二次元目の泳動距離が同じくらいになるようゲルのサイズを選択することが多い（市販のレディーメイドゲルで代用も可能）

2) 試薬の調製

SDS平衡化バッファー

(最終濃度)

0.5 M Tris-HCl (pH 6.8)	1 ml	50 mM
尿素	3.6 g	6 M
50%グリセロール	6 ml	30%
SDS	100 mg	1%
DTT	25 mg [0.25% (w/v)]	
ブロムフェノールブルー (BPB)	微量	

DWで10 mlとする，小分けにして凍結保存すると便利

0.5%低融点アガロース溶液

低融点アガロース	50 mg
ブロムフェノールブルー (BPB)	微量

泳動バッファーで10 mlとする。電子レンジなどで熱をかけて溶かす。室温で保存

- ・SDS-PAGE濃縮および分離ゲルの組成については2章 - 3参照。

10×泳動バッファー (pH 8.3)

Tris	30.3 g	0.25 M
グリシン	144 g	1.92 M
SDS	10 g	1%

DWで1000 mlとする，室温で保存